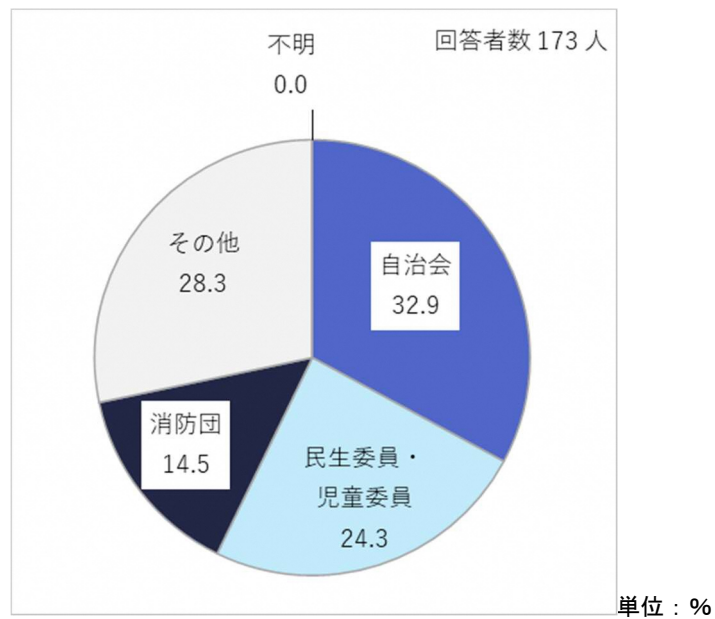


Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

問1 あなたは、どの立場で回答していますか。（1つに○）

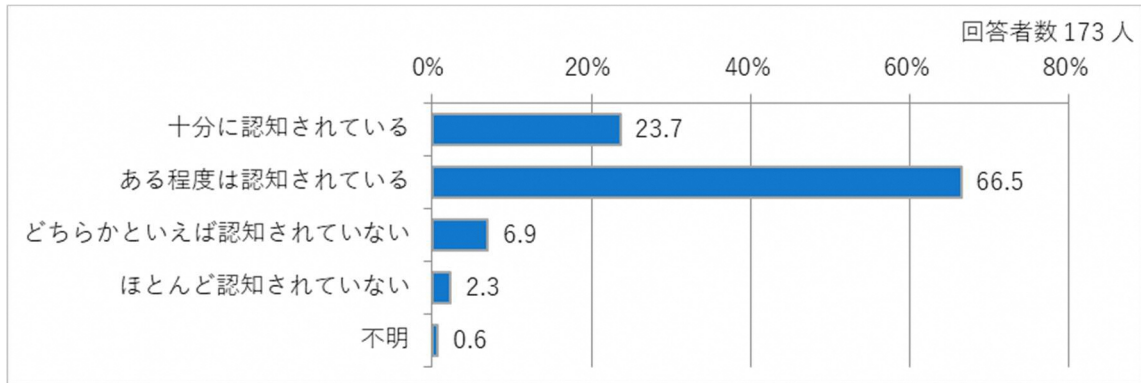
- 回答者の所属団体は、「自治会」（32.9%）、「民生委員・児童委員」（24.3%）、「消防団」（14.5%）、「その他」（28.3%）です。



1 活動について

問2 ご自身の団体等の活動が住民に認知されていると感じていますか。(1つに○)

- 団体等活動の住民認知度の自覚は、「ある程度は認知されている」(66.5%)が最も高く、「十分に認知されている」(23.7%)が続きます。



【属性別の主な傾向】

- 全ての所属団体で「ある程度は認知されている」が高くなっています。

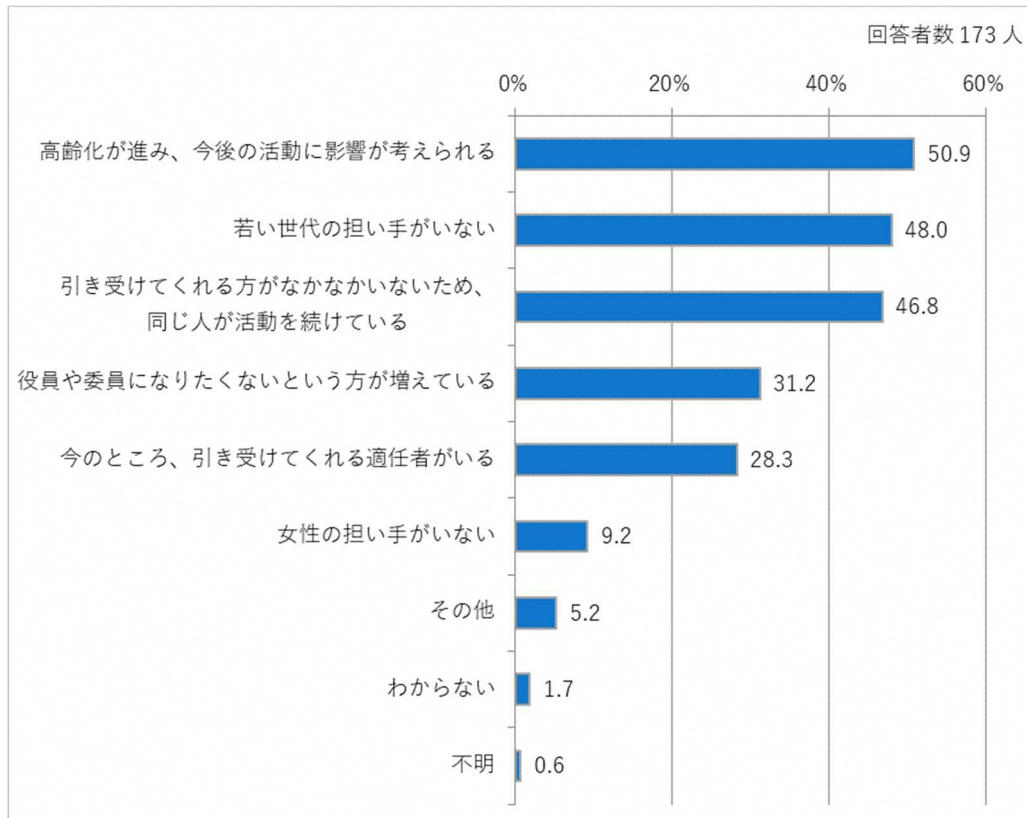
数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数(人)	十分に認知されている	ある程度は認知されている	どちらかといえば認知されていない	ほとんど認知されていない
所属団体	自治会	57	40.4	50.9	7.0	0.0
	民生委員・児童委員	42	4.8	78.6	11.9	4.8
	消防団	25	32.0	68.0	0.0	0.0
	その他	49	16.3	73.5	6.1	4.1

問3 ご自身の団体等の担い手や引き受け手の現状について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- 団体等の担い手や引き受け手の現状は、「高齢化が進み、今後の活動に影響が考えられる」(50.9%)が最も高く、「若い世代の担い手がいない」(48.0%)、「引き受けてくれる方がなかなかいないため、同じ人が活動を続けている」(46.8%)が続きます。



※グラフは上位順

【属性別の主な傾向】

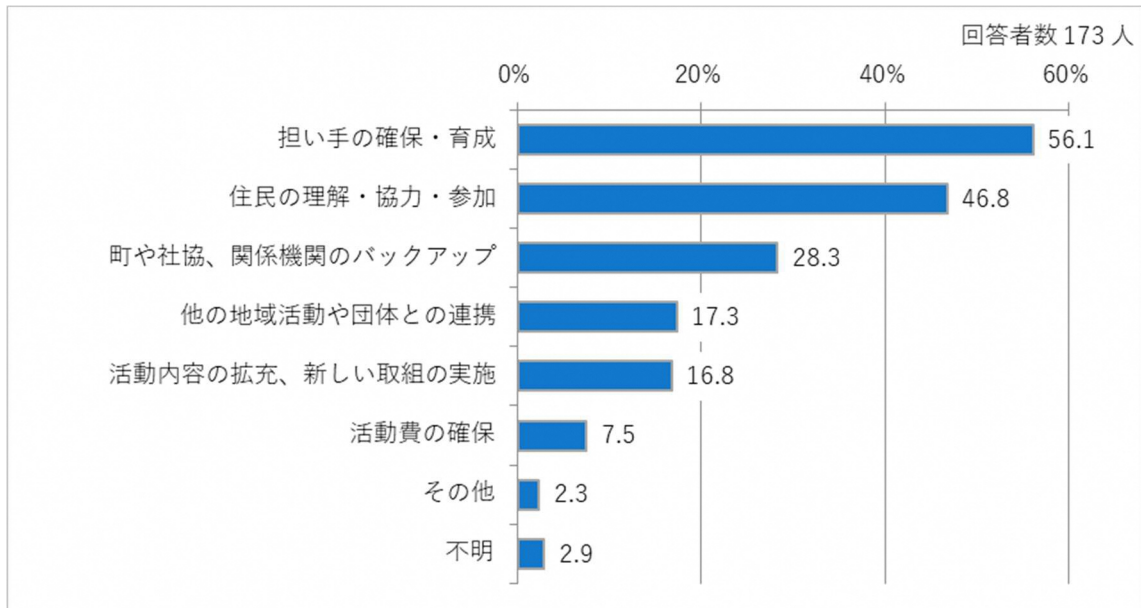
- 自治会は「高齢化が進み、今後の活動に影響が考えられる」、民生委員・児童委員は「引き受けてくれる方がなかなかいないため、同じ人が活動を続けている」、消防団は「若い世代の担い手がいない」がそれぞれ高くなっています。
- また、その他では「引き受けてくれる方がなかなかいないため、同じ人が活動を続けている」と「若い世代の担い手がいない」が高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数(人)	今のところ、引き受けてくれる適任者がいる	引き受けてくれる方がなかなかいないため、同じ人が活動を続けている	若い世代の担い手がいない	女性の担い手がいない	役員や委員になりたくないという方が増えている	高齢化が進み、今後の活動に影響が考えられる	その他	わからない
所属団体	自治会	57	35.1	45.6	50.9	17.5	52.6	73.7	1.8	0.0
	民生委員・児童委員	42	9.5	59.5	40.5	9.5	35.7	50.0	4.8	4.8
	消防団	25	36.0	36.0	64.0	4.0	0.0	40.0	4.0	0.0
	その他	49	32.7	42.9	42.9	2.0	18.4	30.6	10.2	2.0

問4 ご自身の団体等の継続的な活動に重要なことは何ですか。(2つまでに○)

- 団体活動の継続に重要なことは、「担い手の確保・育成」(56.1%)が最も高く、「住民の理解・協力・参加」(46.8%)が続きます。



※グラフは上位順

【属性別の主な傾向】

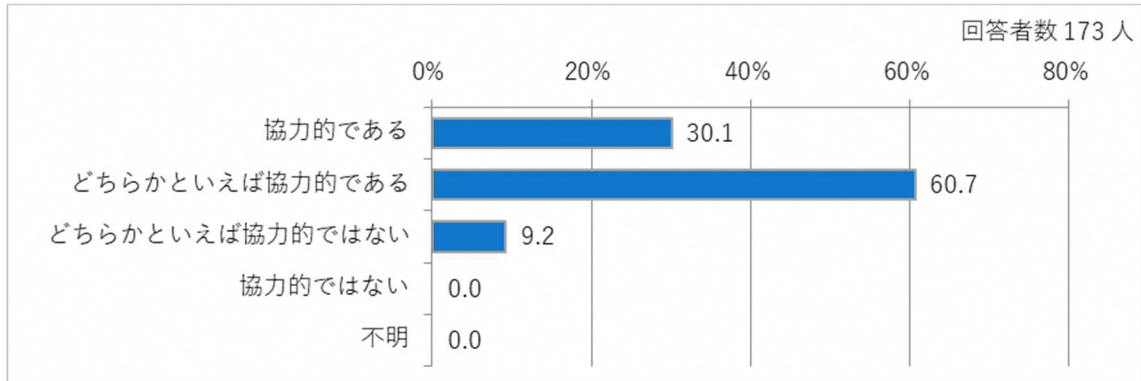
- 自治会は「住民の理解・協力・参加」、民生委員・児童委員、消防団及びその他は「担い手の確保・育成」が高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数(人)	担い手の確保・育成	活動内容の拡充、新しい取組の実施	住民の理解・協力・参加	活動費の確保	他の地域活動や団体との連携	町や社協、関係機関のバックアップ	その他
所属団体	自治会	57	52.6	8.8	56.1	8.8	10.5	26.3	1.8
	民生委員・児童委員	42	57.1	16.7	50.0	0.0	28.6	28.6	0.0
	消防団	25	72.0	12.0	40.0	24.0	4.0	20.0	4.0
	その他	49	51.0	28.6	36.7	4.1	22.4	34.7	4.1

問5 ご自身の団体等の活動に対して住民の皆さんは協力的ですか。（1つに○）

- 団体等活動への住民の協力度は、「どちらかといえば協力的である」（60.7%）が最も高く、「協力的である」（30.1%）が続きます。



【属性別の主な傾向】

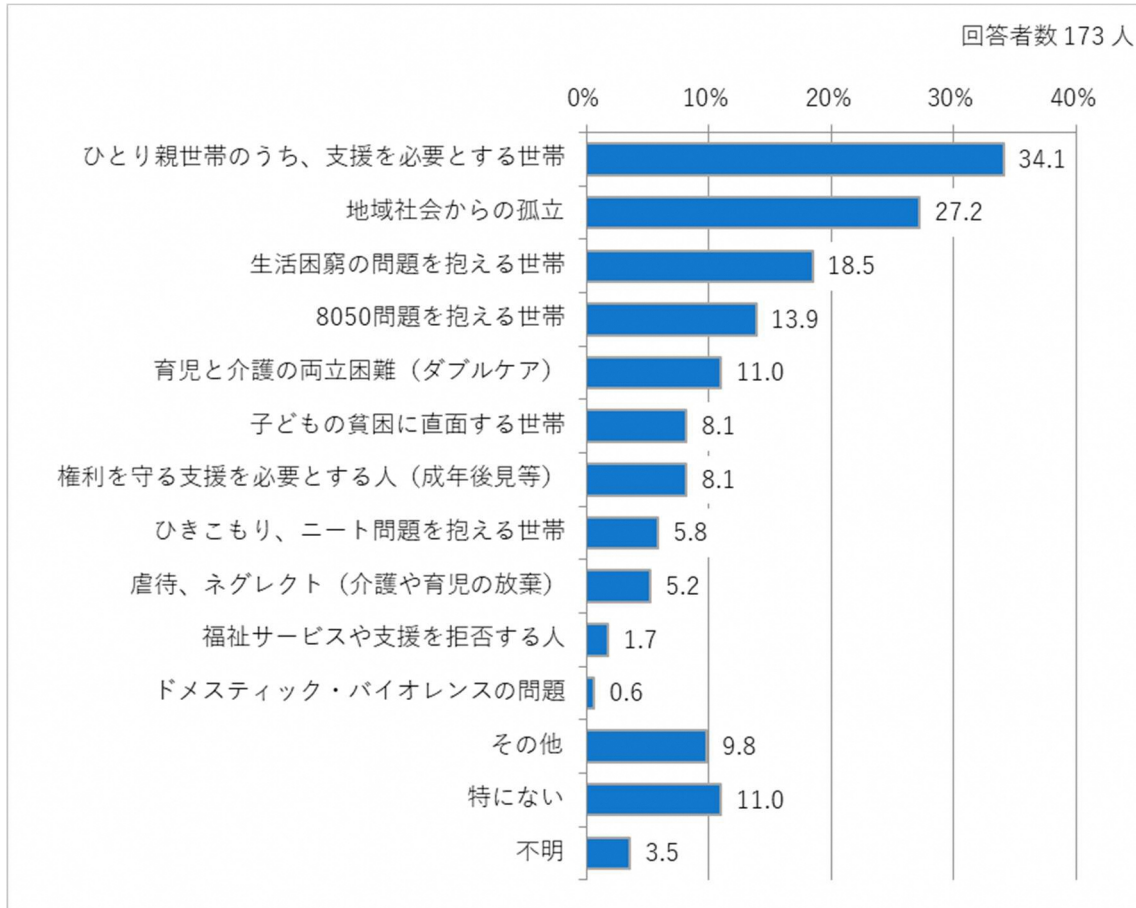
- 全ての団体で「どちらかといえば協力的である」が高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数 (人)	協力度			
			協力的である	どちらかといえば協力的である	どちらかといえば協力的ではない	協力的ではない
所属団体	自治会	57	40.4	56.1	3.5	0.0
	民生委員・児童委員	42	14.3	71.4	14.3	0.0
	消防団	25	36.0	48.0	16.0	0.0
	その他	49	28.6	63.3	8.2	0.0

問6 活動を通じて、今後、特に増えると思われるケースはありますか。(2つまでに○)

- 今後、特に増えると思われるケースは、「ひとり親世帯のうち、支援を必要とする世帯」(34.1%)が最も高く、「地域社会からの孤立」(27.2%)、「生活困窮の問題を抱える世帯」(18.5%)が続きます。



※グラフは上位順

※ひきこもり、ニートは、就学・就労・職業訓練のいずれも行っていない状態

※8050問題は、高齢の親と無職の50歳代の子どもが同居する世帯の経済的な困窮

※ドメスティック・バイオレンスは、夫婦、親族、恋人等における肉体的、精神的、性的等の暴力

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

【属性別の主な傾向】

- 自治会は「ひとり親世帯のうち、支援を必要とする世帯」、民生委員・児童委員は「ひとり親世帯のうち、支援を必要とする世帯」と「生活困窮の問題を抱える世帯」、消防団は「特にない」、その他は「地域社会からの孤立」がそれぞれ高くなっています。

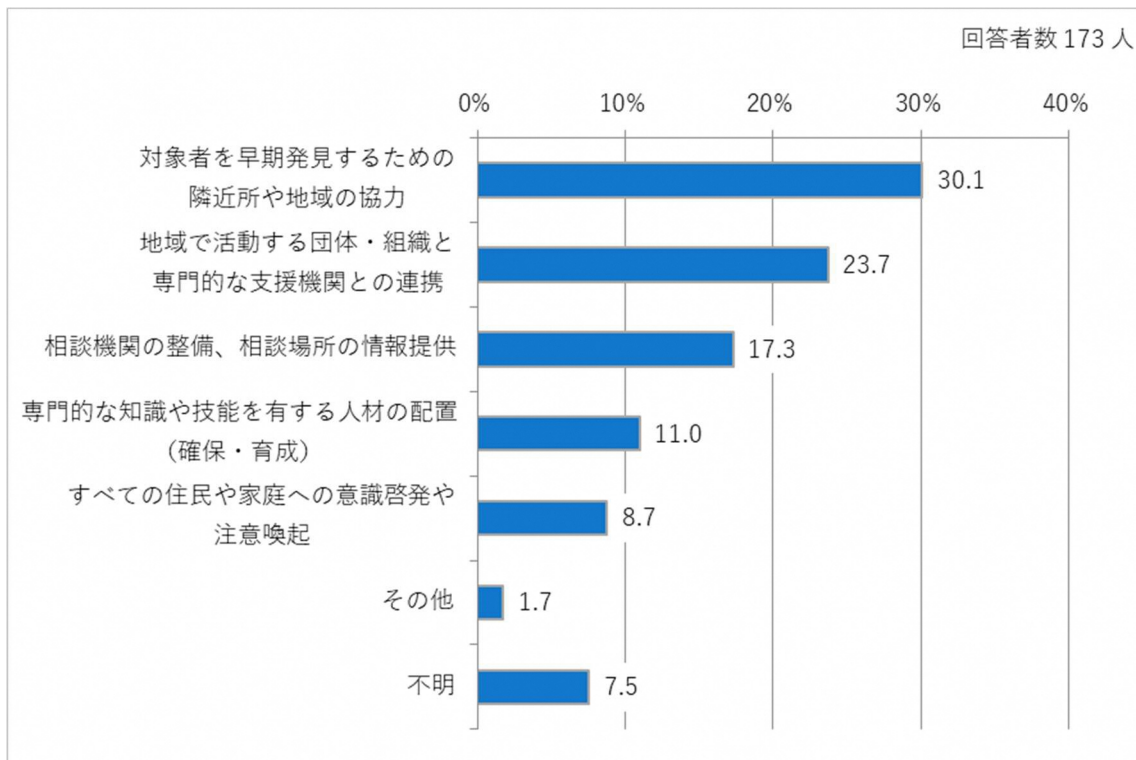
数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数(人)	ひとり親世帯のうち、支援を必要とする世帯	子どもの貧困に直面する世帯	育児と介護の両立困難(ダブルケア)	ひきこもり、ニート問題を抱える世帯	888問題を抱える世帯	生活困窮の問題を抱える世帯	地域社会からの孤立	権利を守る支援を必要とする人(成年後見等)
所属団体	自治会	57	43.9	5.3	12.3	5.3	15.8	14.0	24.6	5.3
	民生委員・児童委員	42	40.5	7.1	16.7	9.5	11.9	40.5	33.3	9.5
	消防団	25	24.0	0.0	12.0	0.0	12.0	16.0	24.0	8.0
	その他	49	22.4	16.3	4.1	6.1	14.3	6.1	26.5	10.2

属性	区分	回答者数(人)	福祉サービスや支援を拒否する人	ドメスティック・バイオレンスの問題	虐待、ネグレクト(介護や育児の放棄)	その他	特にない
所属団体	自治会	57	0.0	0.0	0.0	8.8	10.5
	民生委員・児童委員	42	2.4	0.0	2.4	9.5	2.4
	消防団	25	0.0	0.0	0.0	8.0	28.0
	その他	49	4.1	2.0	16.3	12.2	10.2

問 7 前問のケースに対し、今後、五戸町でどのような取組が最も重要と考えますか。（1つに○）

- 今後、特に増えると思われるケースに対する町の取組で最も重要なのは、「対象者を早期発見するための隣近所や地域の協力」（30.1%）が最も高く、「地域で活動する団体・組織と専門的な支援機関との連携」（23.7%）、「相談機関の整備、相談場所の情報提供」（17.3%）が続きます。



※グラフは上位順

【属性別の主な傾向】

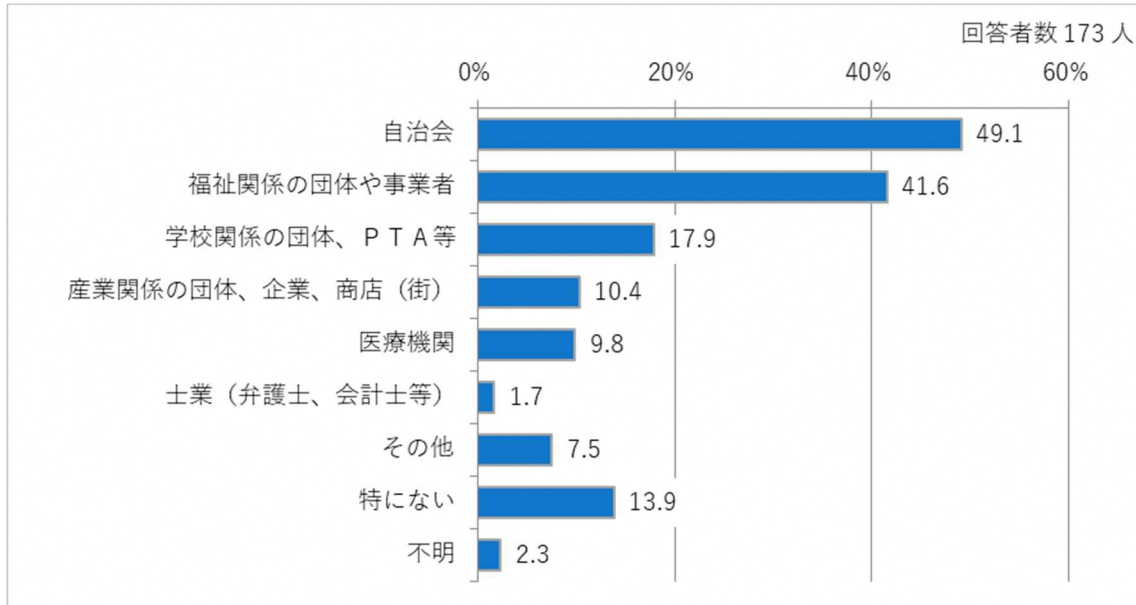
- 全ての団体で「対象者を早期発見するための隣近所や地域の協力」が高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数(人)	啓発や注意喚起	相談機関の整備、相談場所の情報提供	対象者を早期発見するための隣近所や地域の協力	地域で活動する団体・組織と専門的な支援機関との連携	専門的な知識や技能を有する人材の配置(確保・育成)	その他
所属団体	自治会	57	12.3	15.8	28.1	24.6	12.3	1.8
	民生委員・児童委員	42	9.5	9.5	42.9	26.2	9.5	2.4
	消防団	25	8.0	20.0	20.0	20.0	8.0	0.0
	その他	49	4.1	24.5	26.5	22.4	12.2	2.0

問 8 現在の活動をするうえで、協力や連携をしたい人や団体はありますか（福祉分野に限定しません）。（2つまでに○）

- 協力や連携をしたい人や団体は、「自治会」（49.1%）が最も高く、「福祉関係の団体や事業者」（41.6%）が続きます。



※グラフは上位順

【属性別の主な傾向】

- 自治会は「福祉関係の団体や事業者」、民生委員・児童委員は「自治会」と「福祉関係の団体や事業者」、消防団とその他は「自治会」がそれぞれ高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数（人）	自治会	福祉関係の団体や事業者	医療機関	学校関係の団体、PTA等	産業関係の団体、企業、商店（街）	士業（弁護士、会計士等）	その他	特にない
所属団体	自治会	57	22.8	40.4	7.0	14.0	10.5	0.0	7.0	29.8
	民生委員・児童委員	42	59.5	59.5	11.9	28.6	4.8	2.4	7.1	2.4
	消防団	25	92.0	8.0	4.0	8.0	8.0	0.0	8.0	8.0
	その他	49	49.0	44.9	14.3	18.4	16.3	4.1	8.2	8.2

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

問 8 付問 上記の人や団体と協力や連携をしたいことを具体的に記入してください。(自由記入)

選択肢番号	連携先
1	自治会
2	福祉関係の団体や事業者
3	医療機関
4	学校関係の団体、PTA等
5	産業関係の団体、企業、商店(街)
6	士業(弁護士、会計士等)
7	その他
8	特になし

意見全文(原文のまま)

選択肢番号	協力や連携をしたい具体的な内容
1, 2	自分だけでは対象者の早期発見したり、情報を得ることが困難。(私も老人の介護、孫等の世話で手がまわらない状態。)
1	同じ町内会での隣り近所の方々が、一番に困っている家庭があるかどうか把握できるので、その方の情報をもらい、役場での公的な支援をしてもらうのがいい方法と思います。
2	社会福祉協議会(介護について)
1	消防団だけの人材確保は、限界があると思う。自治会からもアプローチできれば少しは、確保ができるのでは。
1, 2	自治会単位で協力し、上部団体と相談、連携する。
1, 4	・総会の時にサロンの事を紹介してほしい。・自治会から補助金をいただく。(そうすれば、町への補助金申請書を提出しなくても良いと思う。) ・若い人たちとコミュニケーションがとれる。 ・子どもたちと交流することによって心が和む。
1	自治会における消防団体活動への理解・協力・参加。
7	自治会同士が連携して、除草や代採作業を行なう。(耕作放棄地や堤防など)
-	設問6にある事項全てに関して自治会等の情報提供と同団体においてもボランティア的活動を取り込んでもらうことが、地域福祉の向上には即効性があると思われるので希望するところです。
1	・自治会(町内会)の高齢者世帯の把握。(緊急時・災害時の避難確保等一人世帯への動きのため。)
1, 4	赤十字奉仕団の信条は、特に職域をしぼったものではなく、すべての人の奉仕の精神です。活動時には、1-4の団体にも声がけし、一緒にできる事はしていきたいと思っています。
2, 4	高齢者世帯への各種支援。児童、生徒の安全・安心な生活への各種活動。
1, 2	団体での事業(レクリエーション)を通じた活動の指導をしてほしい。

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

選択肢番号	協力や連携をしたい具体的な内容
5, 7	声にできない人たちの声にどう対応していくのか問6の項目、すべて→共有方法をどうするのかアンケート結果集録作りでおわらないこと。現実にもすでに沢山解決すべきことが見えているはずです。
2, 4	通常、個人の家に入り込むことは、むずかしいので、問題を抱えた家があるのかの情報が入手しにくい。
2	高齢者の一人家庭への対応や自治会としての具体的な施策の立案などについて。
1	・地域の課題で中学生が役に立つことができることを教えていただきたい。
1	自治会の班長組長を通じて、地域の情報を吸い上げ、行政行為者が認知し、対応出来るシステムの構築。
1	担い手確保の為の活動協力、いっしょに探す。
1	団員確保の協力、情報提供
3, 5	高齢の方々、（特に女性）痛い痛いとの事、医療機関に行かなくても指導する事が出来ないか？自治会での年中行事において、道具の清掃、及び草刈等に対し業者の協力が必要な時もある。
2	・社会福祉協議会との情報交換等
3	・月1回でも医師を、各地区にまわして下されば病院に行けない人や普通の人でも健康相談等可能だと思うが。
1, 4	地域で入団、協力等を声がけしてほしい。子供の居る世帯は、出来る限り、お願いしたい。
1, 5	現在でも協力、連携は、それなりだと思う。このまま続けていきたい。火災の時などは、やはり企業の助けが非常に助かると思います。これからもお願いしたい。
5	会社員の勤務時間、業務内容により自治会への協力が出来ない。役員、委員に協力的でない。
-	情報交換の場を設ける。
1	自治会は、自治会本来の活動をしなければならないと思う、何が何か？
2, 3	横のつながりを強め、情報を共有できたら、業種をこえて、話し合える・相談できる場を定期的に設けられたら。
1, 2	高齢者の実情やニーズの把握。高齢者も地域住民の1人として果たす役割があることの理解と協働の具体化。私は自治会役員でもあるので相互理解と、相互協力は進めている。役場は一定の法律があり、住民サイドには踏み込んでこない、縦割組織で住民の問題解決よりも役場組織を重視する職員が少なくない。SDGsは標語ではなく、アクションである、社協とも地道に関係を強化し、協力している。役場、関係部署、社協とも連携の課題を協議する場がほしい。
-	1、2
1, 2	独り暮らし老人等、訪問時に協力をお願いしたい。何か起きた時、独り訪問だとこまる。施設入所等の相談を受けた時のアドバイス
4, 5	児童、生徒に活動を見せ、一緒に行きたい。生産、取組の現場を見てほしい。
6	特に法律的な事柄に関しては一般人は知識が無いので、色々な助合を聞きたい。
-	災害時の協力、支援等今後共お願いします。

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

選択肢番号	協力や連携をしたい具体的な内容
4	自治会活動を行なうためには、生徒や若い世代の協力が不可欠なため。
2, 4	子どもに対する情報共有、支援の役割分担と連携の仕方。幼保小中の連携した学力保証と成長保証。
7	ケース会議
1, 3	自治会（役員）等情報交換。一人暮らしの方と、医者との直接連絡が取れる、しくみ等。
2, 5	体験活動の実施、講演会の講師
-	情報の提供 {非常時に備え一人世帯の通院先、連絡先（家族、近親者等）東京の足立区、県内では七戸町で詳しい情報提供がされています。
2, 4	赤ちゃんからお年寄りまで気軽に集まって交流できる様になると良いと思う。お互いのできる事で協力交流できると良い。今まで何度か実施おります。
-	自治会では毎月、回覧や配布物等が有り各家庭の様子、問題点等がいち早くわかるので協力や連携を希望したいです。
2	高齢者の1人又は2人暮らしの世帯が増えてきている。地域や福祉関係者、行政等が連携しながら見守りや買物支援、集える場づくり等が必要になってくる。
1	自治会の統合が必要と思う。旧小学校区単位で、今までの活動を通して、今後の在り方を探る。
-	様々なケース対応が増えることから、関係機関との情報共有、連携が大切。必要に応じてケース会議の出席等。
1, 2	福祉分野においてかかわりが薄く、自治会と連携する事で、目を向けて頂き、一緒に取組みを計るため。福祉関係の諸問題に速やかに対応する為。
2, 7	高齢の一人ぐらし女性で運転のできない人は、家にこもりきりになりやすいので、何か良い方法があればと思う。高齢の母親と独身男性の親子の組合せが多くあり、独身男性を少しでも減らすよう、結婚相談所のようなものが、もしくは出会いの場があればと思う。
1	自治会を通じたの団員の確保
4	五戸祭や町民運動会への参加協力
1, 2	各自治会との協力連携。福祉関係の団体や事業者との協力連携。
1	自治会からの要請には可能な限り応ずることとし良好な関係にある。
1, 4	自治会総会で民生委員の紹介やお願い等行っている。学校訪問で地域の児童の情報を得ているが、支援は難しい。
1, 2	見守り活動、声かけ。心と身体を健康にする活動、サービス困りごと相談（解決できるまでよりそう）
2	福祉に関する相談を受けることが多い。
3	病児保育や病後児保育などの支援があると、五戸町でも子育てがしやすく感じられるのではないかと。
-	消防団やボランティア団体。（実行委員会等）
2, 3	日頃から支援を必要とする子どもの情報を知らせて頂き、連携して支援ができるようにしたい。学校と連携を深め、日常的に見守り活動ができるようにしたい。

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

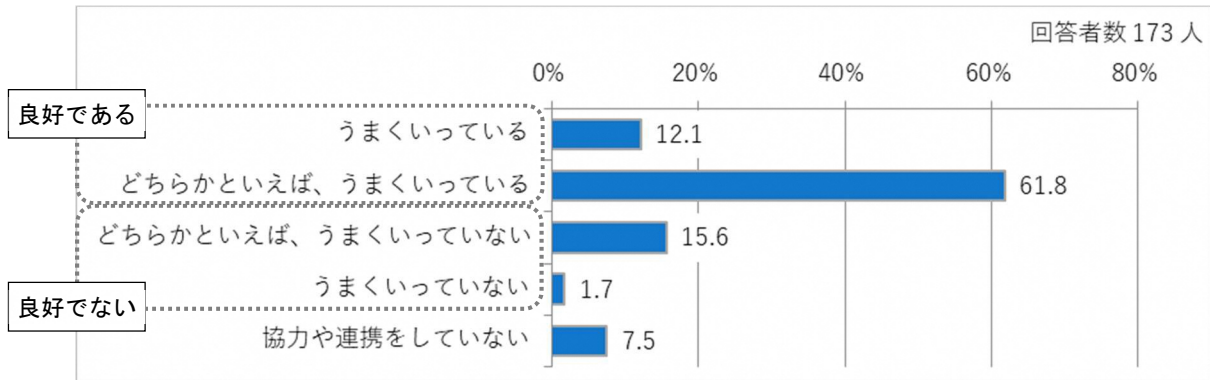
選択肢番号	協力や連携をしたい具体的な内容
-	農業や、つとめの仕事が第一で団体の協力や連けいをしたいと思わない人が多い。
4	通学路の除草・除雪など
1, 4	自治会行事に積極的に参加して、役員や地域住民との交流を図りながら、民生委員児童委員活動の啓蒙と協力依頼をしていく。地域の子どもたちは、地域全体で見守り、健全育成を図っていくために、学校やP T A等との情報交換の場を増やしていく。
5	多くの方々とコミュニケーションをとれる場。
1	団員募集の声かけしてほしい。（回覧板など）
2	交流や情報交換
-	自治会との話し合い。
1, 2	情報の共有、相談に対するアドバイス
3	・手術後の経過や、これから先の就業は可か否かの状況を聞きたい。・三戸福祉事務所と続けて、連絡をとり合っていく。
5	イベントの協力
1	人材の確保のため！
7	自治会加入（転入者）に役場の方から話をしてほしい。
2, 3	利用者の高齢化にともなう、介護保険施設への移行。利用者の重度化にともなう、医療的ケアの必要度合いが高くなっている。
5	物づくりとか集まる場の企画とか協力できればよいと思う。
-	自治会と会社との理解が必要。
1	いろいろな情報を連絡してくれる。1人暮らしの人の事等。
-	消防団への協力人員確保。
2, 4	生活困難者自立支援窓口ー幸せネットワークー民生連携成果あり。社協ーアップルハートー民生連携成果あり。社協ー警察ー民生連携効果あり。児相ー民生連携ある程度効果あり。（課題を抱えた児童、高齢者、ドメスティック・バイオレンスについて）学校ー行政ー民生連携ある程度効果あり。
5	行事を計画に当り、資金面での協力を願う。
1	災害時の地域の住民の安否確認する際の住民状況を共有したい。（例）独り暮らし、高齢世帯とか。
1	災害などでは、地元の自治会の協力でかなり活動しやすくなると思うので。
-	企業に勤務しているが、消防団活動に対しての、理解が得られていない為。
2	講習会・研修会等、及びスポーツにおいて、講師などを、お願いしたい。
4	学校行事の精選等、運営上のすり合わせが必要。そのため、学校教育部会との更なる「報・連・相」が必要と考える。
1	消防団への協力。
2, 3	・手話を覚えて欲しい。・福祉サービスを教えて欲しい。・聴覚障害者の特性を知って欲しい。（一人一人聞こえ方が違うこと、文章での説明だけでは理解が難しいことなど）

Ⅲ 地域役員アンケート調査結果

選択肢番号	協力や連携をしたい具体的な内容
1	防災訓練等、自治会との連携が大切だと思います。
-	地域で知り合い、ふれあいの機会をつくって困っている人を助けるという町民に福祉の心をどう育てるか。
-	共生社会への地域づくりが必要。ハード面でもソフト面でも。
-	広く活動を進めるため。子供の頃から正しい食生活を知る。成人病予防

問9 現在、他の人や団体（福祉分野以外を含む）との協力や連携はうまくいっていますか。（1つに○）

- 他の人や団体（福祉分野以外を含む）との協力や連携の評価は、「どちらかといえば、うまくいっている」（61.8%）が最も高く、「どちらかといえば、うまくいっていない」（15.6%）が続きます。
- 『良好である』（うまくいっている+どちらかといえば、うまくいっている）は73.9%、『良好でない』（うまくいっていない+どちらかといえば、うまくいっていない）は17.3%です。



【属性別の主な傾向】

- 全ての団体で「どちらかといえば、うまくいっている」が高くなっています。

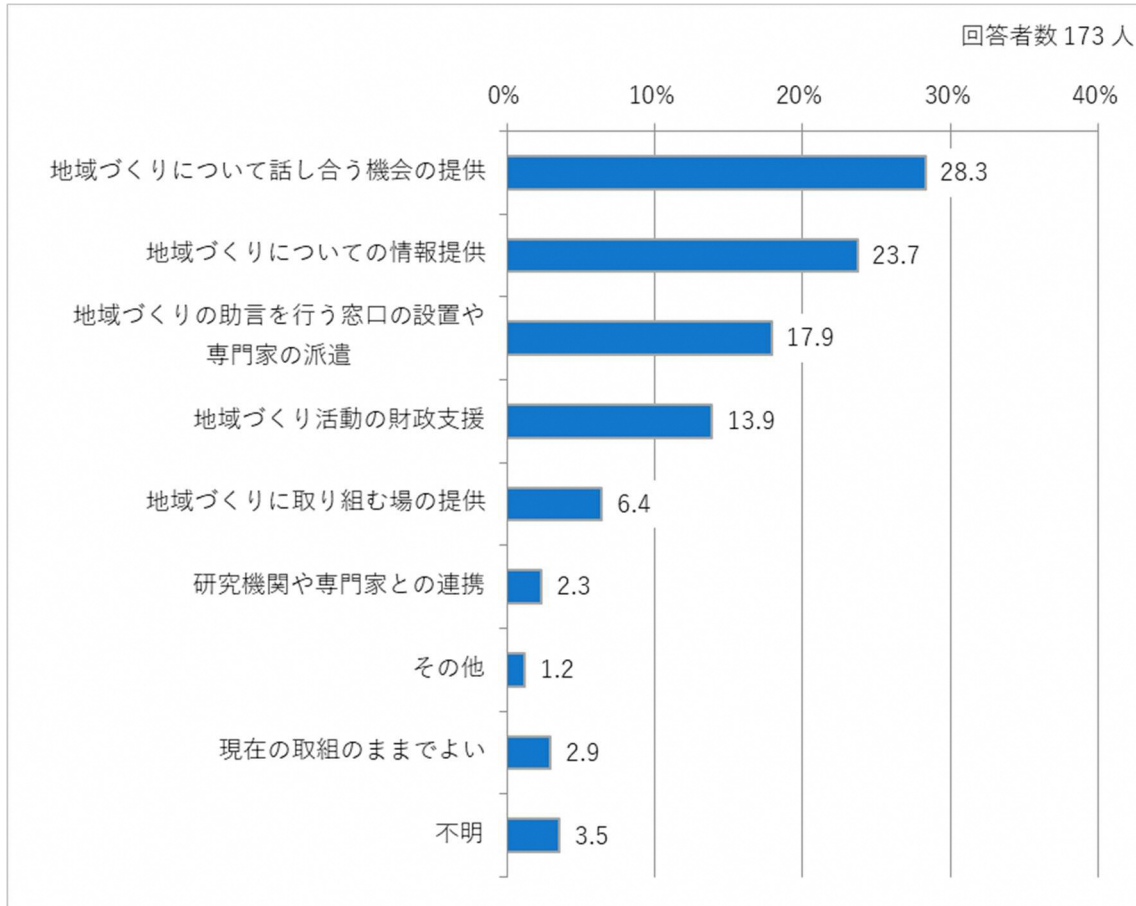
数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数 (人)	うまくいっている	どちらかといえば、うまくいっている	どちらかといえば、うまくいっていない	うまくいっていない	協力や連携をしていない	疑念	疑念
所属団体	自治会	57	10.5	59.6	15.8	3.5	10.5	70.1	19.3
	民生委員・児童委員	42	11.9	57.1	26.2	0.0	4.8	69.0	26.2
	消防団	25	12.0	64.0	12.0	0.0	12.0	76.0	12.0
	その他	49	14.3	67.3	8.2	2.0	4.1	81.6	10.2

2 これからの福祉環境について

問 10 支え合う地域づくりに向けて、今後、五戸町でどのような取組が最も重要と考えますか。
(1つに○)

- 支え合う地域づくりに向けて重要な取組は、「地域づくりについて話し合う機会の提供」(28.3%)が最も高く、「地域づくりについての情報提供」(23.7%)、「地域づくりの助言を行う窓口の設置や専門家の派遣」(17.9%)が続きます。



※グラフは上位順

【属性別の主な傾向】

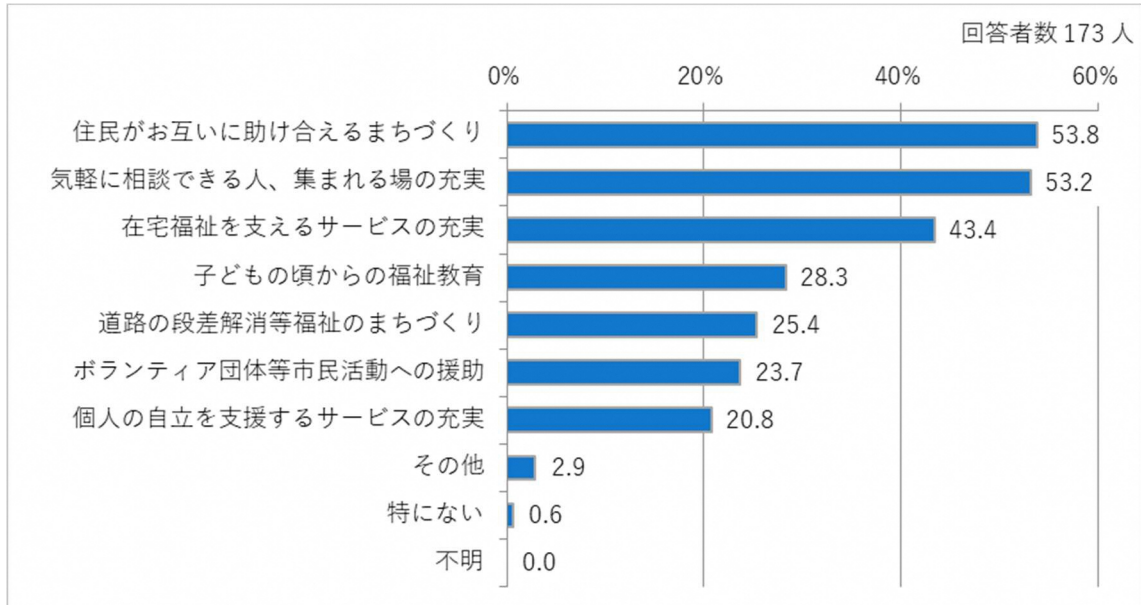
- 自治会は「地域づくりについての情報提供」、民生委員・児童委員とその他は「地域づくりについて話し合う機会の提供」、消防団は「地域づくりについての情報提供」と「地域づくり活動の財政支援」がそれぞれ高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数(人)	提供	地域づくりについての情報	地域づくりについて話し合	地域の設置や専門家の派遣	研究機関や専門家との連携	提供	地域づくりに取り組む場の	地域づくり活動の財政支援	その他	現在の取組のままでよい
			提供	提供	提供	提供	提供	提供	提供	提供	提供	提供
所属団体	自治会	57	29.8	19.3	19.3	0.0	5.3	17.5	0.0	5.3		
	民生委員・児童委員	42	28.6	38.1	16.7	2.4	7.1	2.4	0.0	2.4		
	消防団	25	28.0	20.0	8.0	0.0	4.0	28.0	0.0	4.0		
	その他	49	10.2	34.7	22.4	6.1	8.2	12.2	4.1	0.0		

問 11 これからの五戸町の地域福祉は何を重点にすべきだと思いますか。（3 つまでに○）

- 地域福祉の重点的な取組は、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」（53.8%）が最も高く、「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」（53.2%）が続きます。



※グラフは上位順

【属性別の主な傾向】

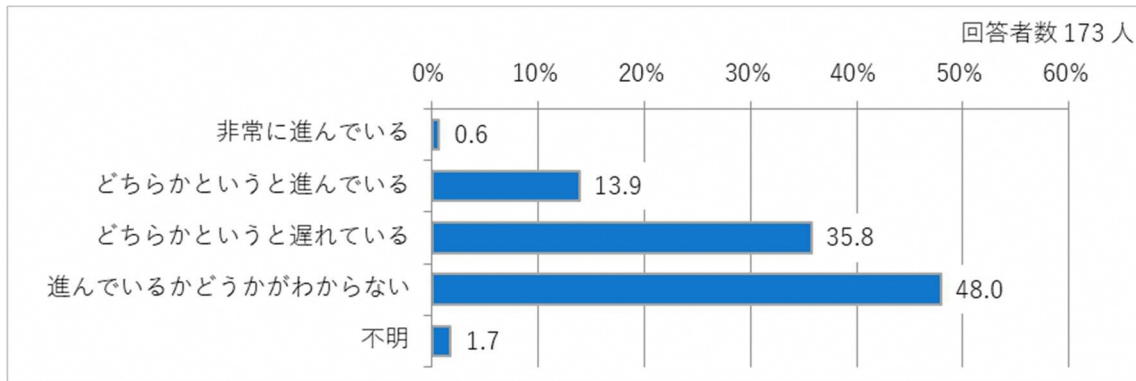
- 自治会は「住民がお互いに助け合えるまちづくり」、民生委員・児童委員とその他は「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」、消防団は「ボランティア団体等市民活動への援助」がそれぞれ高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性1位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数 (人)	住民がお互いに助け合えるまちづくり	気軽に相談できる人、集まれる場の充実	ボランティア団体等市民活動への援助	個人の自立を支援するサービスの充実	在宅福祉を支えるサービスの充実	子どもの頃からの福祉教育	道路の段差解消等福祉のまちづくり	その他	特にない
所属団体	自治会	57	63.2	43.9	21.1	17.5	49.1	21.1	26.3	0.0	0.0
	民生委員・児童委員	42	54.8	64.3	7.1	26.2	50.0	26.2	16.7	2.4	2.4
	消防団	25	44.0	36.0	48.0	12.0	28.0	24.0	44.0	0.0	0.0
	その他	49	46.9	63.3	28.6	24.5	38.8	40.8	22.4	8.2	0.0

問 12 地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（1つに○）

- 地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）の評価は、「進んでいるかどうか分からない」（48.0%）が最も高く、「どちらかというが遅れている」（35.8%）が続きます。



【属性別の主な傾向】

- 自治会、消防団及びその他は「進んでいるかどうか分からない」、民生委員・児童委員は「どちらかというが遅れている」が高くなっています。

数値は%、網掛けは各属性 1 位、属性及び設問の「不明」は非表示

属性	区分	回答者数 (人)	非常に進んでいる	進んでいる どちらかという と	遅れている どちらかという と	かがわ から ない	進ん で い る か ど う
所属団体	自治会	57	1.8	12.3	33.3	49.1	
	民生委員・児童委員	42	0.0	11.9	45.2	42.9	
	消防団	25	0.0	20.0	16.0	64.0	
	その他	49	0.0	14.3	40.8	42.9	

問 13 住民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らす地域づくり（地域福祉）について、ご意見、ご提案等がありましたら、自由にお書きください。

※「Ⅳ 自由意見」に掲載